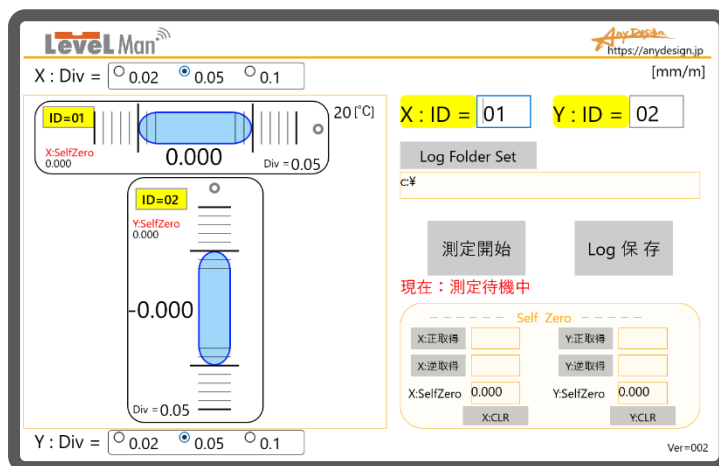


無線・デジタル精密水準器

Level Man

レベルマン ADL-4シリーズ

標準・無線アプリケーション マニュアル



はじめに

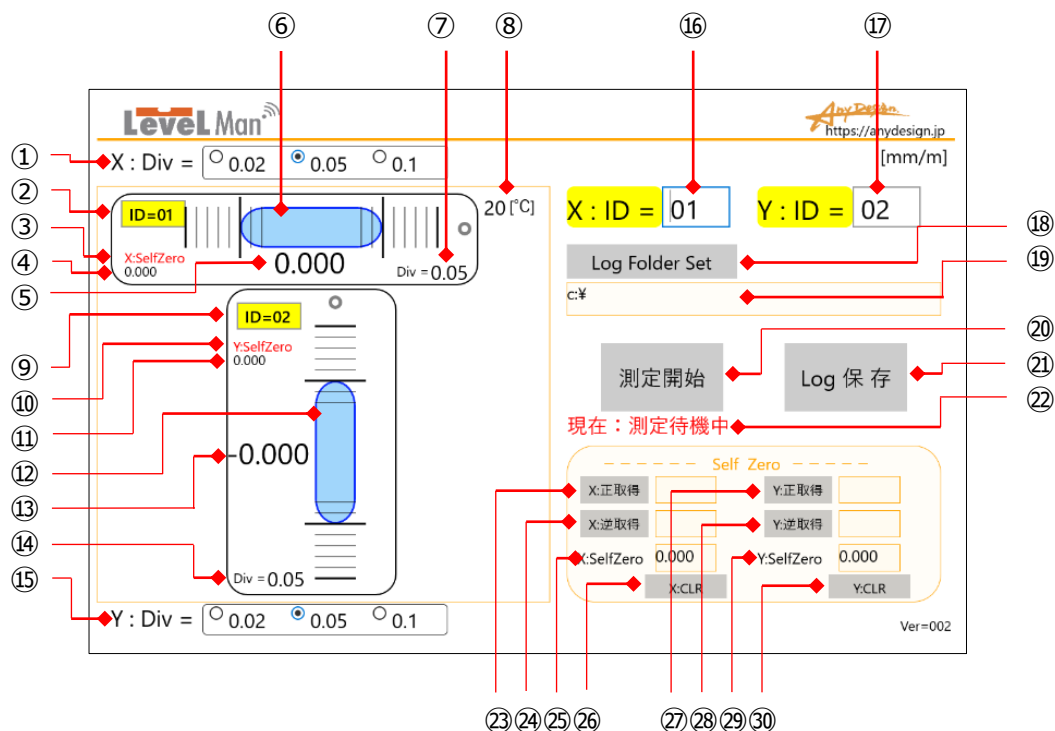
この度はADL-4シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- 本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 正確な測定と末永いご愛用をお願いいたします。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

目次

| | | | |
|----|------------------------|-------|----|
| 1. | 画面各部の名称(1):通常画面 | | 3 |
| 2. | X軸、Y軸に置いた2つの本体のID番号の設定 | | 4 |
| 3. | 目盛感度の設定 | | 5 |
| 4. | ログのフォルダー設定 | | 6 |
| 5. | セルフゼロの設定と保存 | | 7 |
| 6. | 測定とログの保存 | | 9 |
| 7. | 画面各部の名称(2):通信切断時 | | 10 |
| 8. | 画面各部の名称(3):バッテリー低下時 | | 11 |

1. 画面各部の名称(1):通常画面



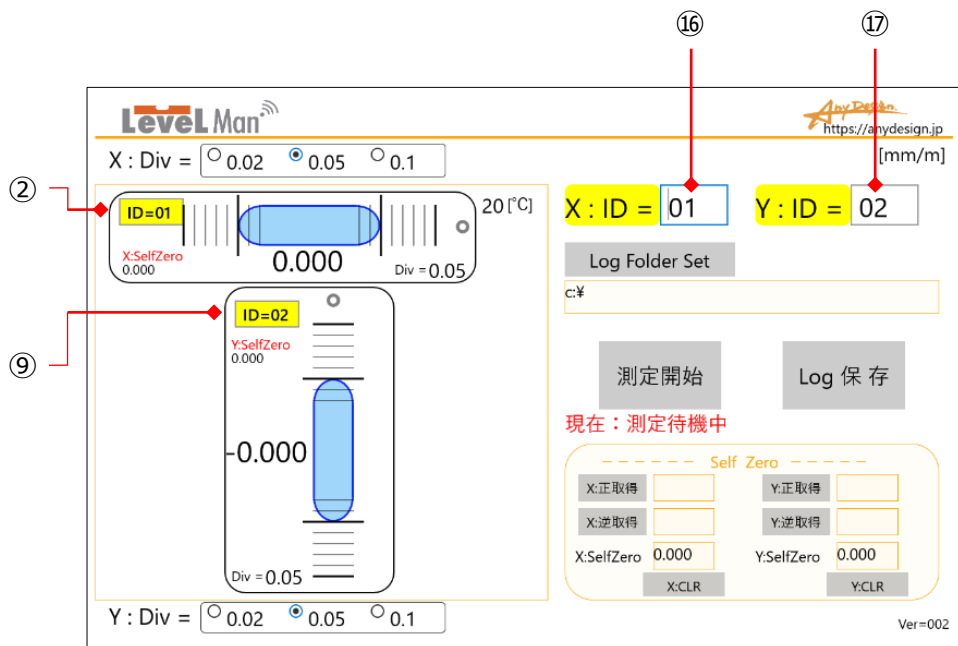
- X軸に置いたレベルマンを本体Xとします
- Y軸に置いたレベルマンを本体Yとします
- ① 本体Xの水準器の目盛感度設定
- ② 本体XのID番号
- ③ 本体Xのセルフゼロを表示
- ④ 本体Xのセルフゼロの補正値を表示
- ⑤ 本体Xの気泡の位置を読み取り、デジタル化した数字を表示
- ⑥ 本体Xの気泡のグラフィック表示
- ⑦ 本体Xに設定した水準器の一目盛りの感度を表示
- ⑧ 本体Xの内部温度表示
- ⑨ 本体YのID番号
- ⑩ 本体Yのセルフゼロを表示
- ⑪ 本体Yのセルフゼロの補正値を表示
- ⑫ 本体Yの気泡のグラフィック表示
- ⑬ 本体Yの気泡の位置を読み取り、デジタル化した数字を表示
- ⑭ 本体Yに設定した水準器の一目盛りの感度を表示
- ⑮ 本体Yの水準器の目盛感度設定

* 本体Yは内部温度表示は無し

- ⑯ 本体XのレベルマンのIDを入力
- ⑰ 本体YのレベルマンのIDを入力
- * ID番号入力に関してはP4参照
- ⑱ ログの保存先のフォルダーを指定
- ⑲ ログの保存先のフォルダーを表示
- ⑳ 測定開始ボタン(ボタンを押すと「測定中」を表示)
- ㉑ ログ保存ボタン(測定中はグレースアウトし、押す操作は不可)
- ㉒ 現在のステータスを表示
「測定待機中」あるいは「測定中」を表示

- ㉓ 本体Xのセルフゼロの傾斜値を取得するボタン
その右の欄に取得値を表示
- ㉔ 本体Xのセルフゼロの180°反転後の傾斜値を取得するボタン
その右の欄に取得値を表示
- ㉕ 本体Xのセルフゼロの補正値
- ㉖ 本体Xのセルフゼロの補正値クリアーボタン
- ㉗ 本体Yのセルフゼロ傾斜値を取得するボタン
その右の欄に取得値を表示
- ㉘ 本体Yのセルフゼロの180°反転後の傾斜値を表示
- ㉙ 本体Yのセルフゼロ補正値表示
- ㉚ 本体Yのセルフゼロ補正値クリアーボタン

2. X軸、Y軸に置いた2つの本体のID番号の設定



■ X軸に置いた本体XのID番号、Y軸に置いた本体YのID番号を入力します。

- ID番号は本体に貼られたラベルのシリアルナンバーの下5桁の上位2桁の番号(赤字部分)になります。

レベルマンADL-4シリーズの例----S/N:453201100

⑩X軸に置いた本体XのIDを入力します。

⑪Y軸に置いた本体YのIDを入力します。

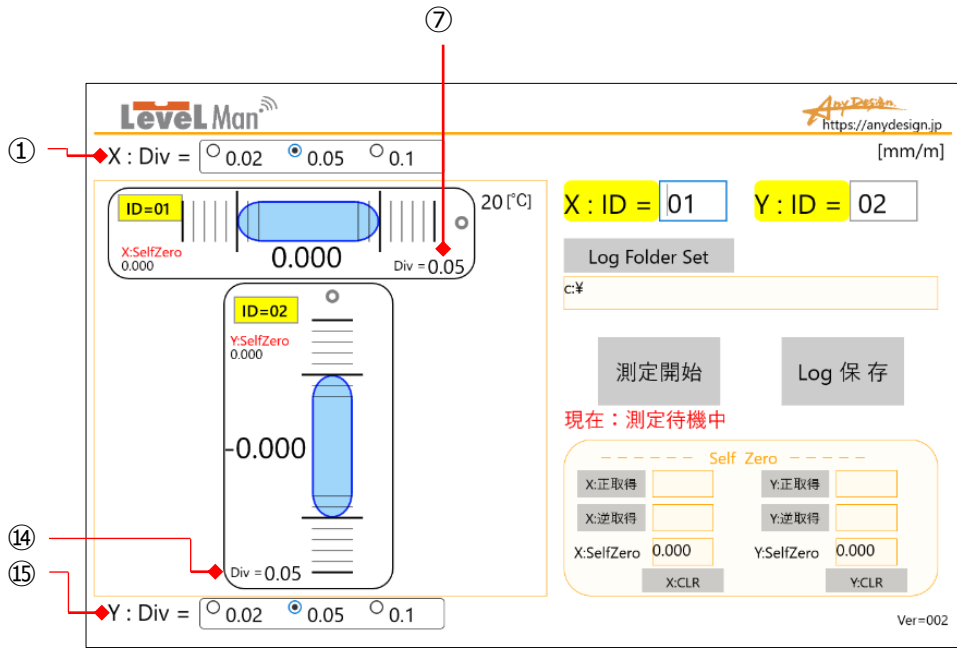
入力すると、

⑫本体XのID番号

⑬本体YのID番号

にも表示されます。

3. 目盛感度の設定



■ 目盛感度設定は画面の気泡移動量を設定します。
これにより異なる感度の水準器のように動作します。

* 本体のハードウェア仕様による分解能、測定範囲を変更するものではありません。

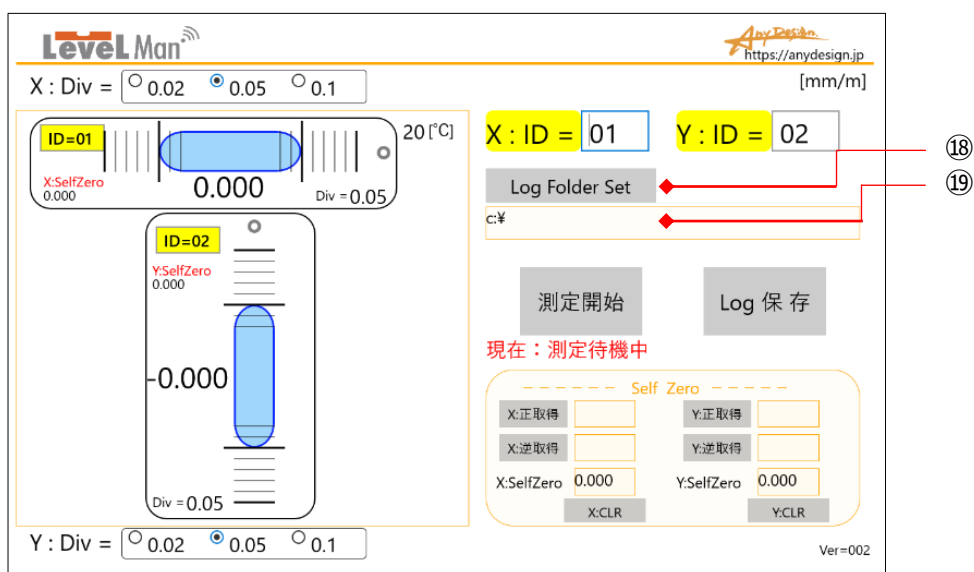
① 本体Xの水準器の目盛感度設定を設定します。図では、0.05 [mm/m] が設定されています。

⑮ 本体Yの水準器の目盛感度設定を設定します。図では、0.05 [mm/m] が設定されています。

⑦ 本体Xに設定した水準器の一目盛りの感度を表示

⑭ 本体Yに設定した水準器の一目盛りの感度を表示

4. ログのフォルダー設定



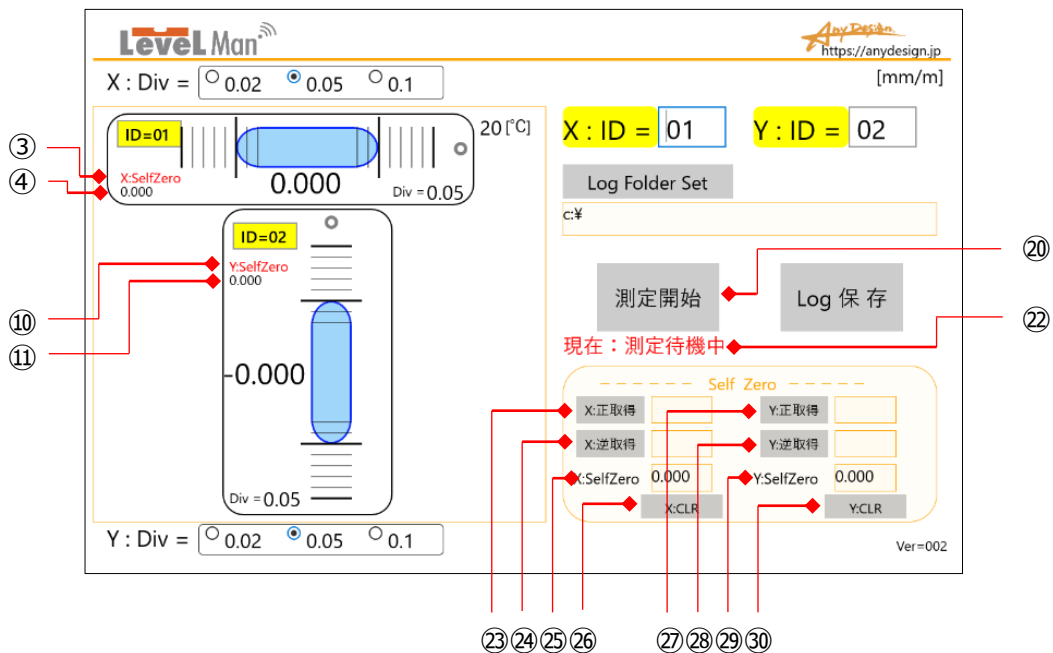
■ 測定した結果・ログを保存するフォルダーを設定します。

- あらかじめ、解凍したファイルの中から、**「LVLFree_Log.csv」**をログの保存先のフォルダーに置きます。
* このファイルを置かないとログファイルを作成できません。

その後、

- ⑮ ログの保存先のフォルダーを指定します。
- ⑯ ログの保存先のフォルダーをフルパスで示します。

5. セルフゼロの設定と保存



■ セルフゼロは本体の調整ズレ分を180°反転法により、算出、保存します。この補正値をもとに、画面の測定値を自動補正します。

* この補正値がアプリケーション側に保存されるので、電源ON後に、毎回セルフゼロを行う必要はありません。1年に1度程度、行ってください。さもなくば、環境温度が変わった時、軽い衝撃などが加わった時などに、本作業を行ってください。

(1) 本体Xのセルフゼロを行いますので、静かに本体Xを測定場所の上に置きます。

⑩測定開始ボタンを押して⑪ステータス表示を「現在：測定中」にします。

⑫本体Xのセルフゼロの傾斜値を取得するボタンを押して取得スタート。
その右の欄に取得値が表示されます。

(2) ここで本体Xを同一の場所で、静かに丁寧に滑らすように180°反転させます。

⑬本体Xのセルフゼロの180°反転後の傾斜値を取得するボタンを押して取得スタート。
その右の欄に取得値が表示されます。

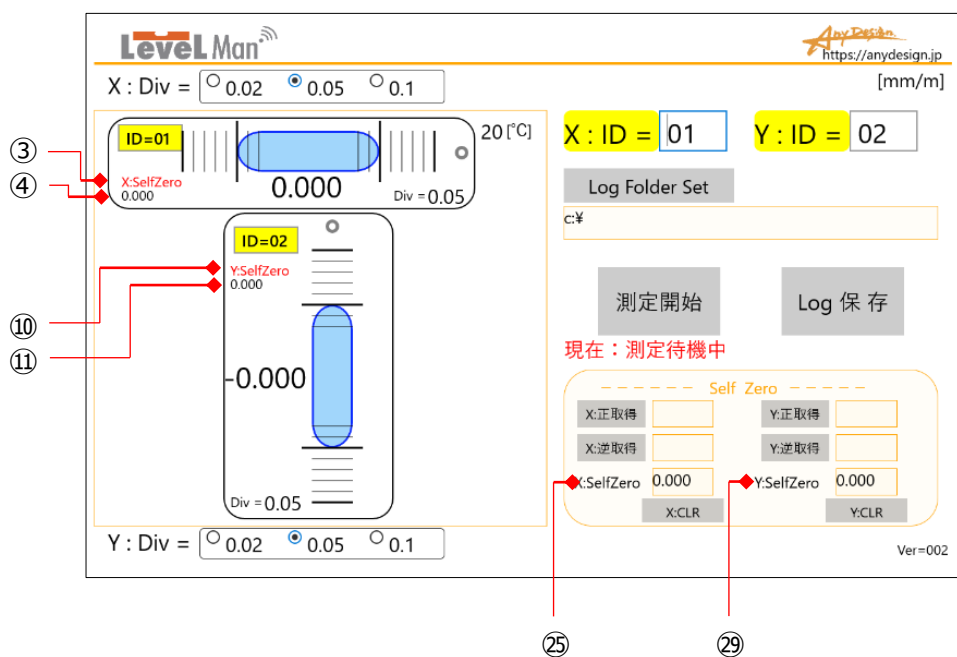
⑭本体Xのセルフゼロの補正値が表示されます。

⑮本体Xのセルフゼロの補正値クリアボタンを押せば、補正値はクリアされます。

(3) 本体Yのセルフゼロも、同様に行います。

* 上記(1)、(2)の正取得、逆取得は何度でも行えます。それぞれほぼ同一値になるようにして下さい。
(3)も同様に行ってください。

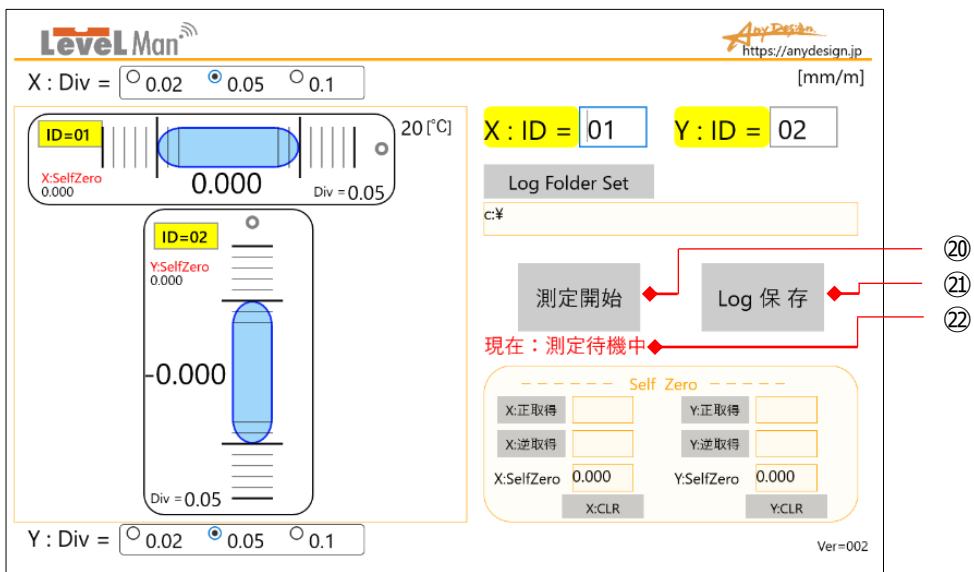
* 上記(1)、(2)の値が大きく異なる場合は、測定面にゴミなどが付着、あるいは挟み込まれている可能性があります。
(3)も同様の可能性があります。



(5)その他の表示

- ③ 本体Xのセルフゼロを表示。
- ④ 本体Xのセルフゼロの補正値の表示。
(②⑤の数値を表示します。)
- ⑩ 本体Yのセルフゼロを表示。
- ⑪ 本体Yのセルフゼロの補正値の表示。
(②⑨の数値を表示します。)

6.測定とログの保存



■ 傾斜度を測定します。

②①測定開始ボタンを押して測定スタート。

測定中はこのボタンは「測定完了」を表示します。

②②現在のステータスを表示します。

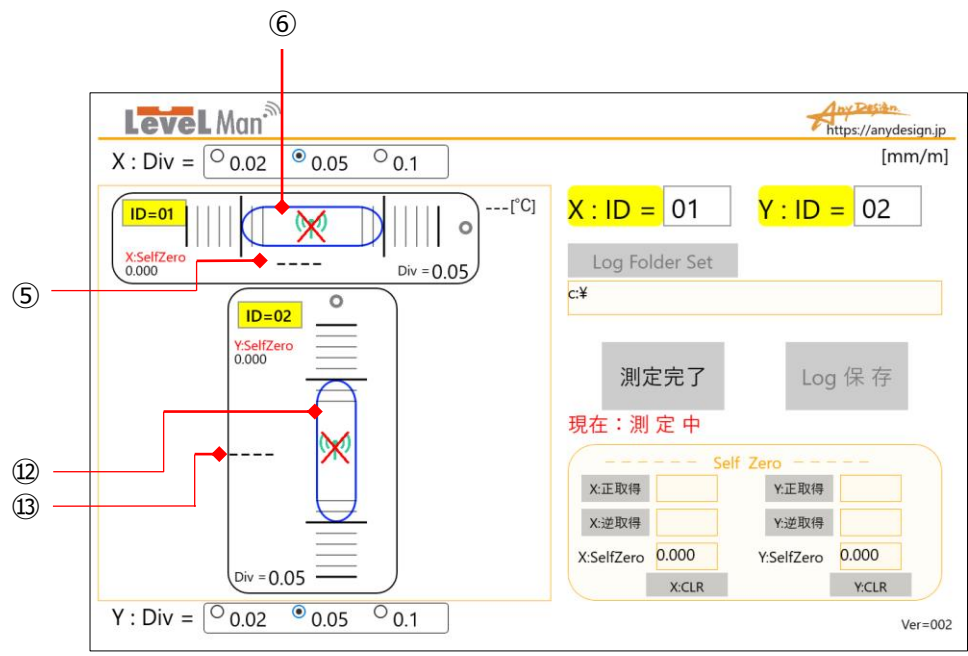
測定をしていないとき --- 「測定待機中」が表示されます。

測定ボタンを押し、再度、**測定開始ボタンを押すまで** --- 「測定中」が表示されます。

②③ログ保存ボタンを押せば、そのデータログが保存されます。

測定中はこのボタンはグレースアウトされ、押すことはできません。

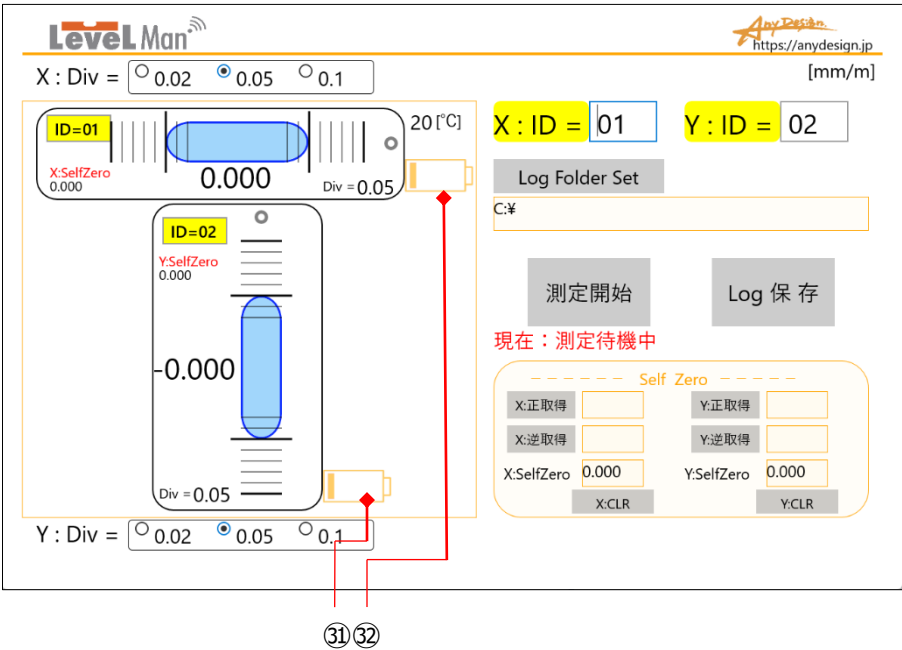
7. 画面各部の名称(2):通信切断時



- ⑤ 本体Xの通信切断時は、データ受信無しのため「_ _ _ _」が表示される。
- ⑬ 本体Yの通信切断時は、データ受信無しのため「_ _ _ _」が表示される。

- ⑥ 本体Xの通信切断時の気泡グラフィックの表示。
- ⑫ 本体Yの通信切断時の気泡グラフィックの表示。

8. 画面各部の名称(3):バッテリー低下時



- ③① 本体Xのバッテリーの低下を表示。
30分程度で電池切れとなります。
- ③② 本体Yのバッテリーの低下を表示。
30分程度で電池切れとなります。

株式会社 Any Design
(エニデザイン)

〒183-0014

東京都府中市是政1-43-22

TEL : 042-315-9801

URL : <https://anydesign.jp/>